朝の会の食に関する指導展開例【特別支援学校】

実施日　令和3年２月22日（※ふじっぴー給食実施日）

題材名　静岡県でとれた食べ物を味わおう

指導内容（本時のねらい）

地域でとれた食べ物の良さや生産者の思いを知り、地域でとれた食べ物に興味を持ち、尊重しようとする態度を養う。

食育の視点

【食文化】日常の食事が地域の農林水産物と関連していることを理解する。（知識・技能）

【食文化】地域でとれた食べ物に興味を持ち、尊重しようとする態度を養う。

（学びに向かう力・人間性等）

展開例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な学習活動　☆留意点　★評価 | 資料等 |
| 導入  展開  終末 | １　今日は「ふじっぴー給食」です。  　　☆2月23日はふじさんの日であることを説明する。  ２　今日の「ふじっぴー給食」にはみなさんが住んでいる○○○○県でとれた食べ物がたくさん入っています。  ○○○○の中に入る言葉は何でしょう？　答え：しずおか  ・今日の給食には静岡県でとれた食べ物が入っていることを知る。  ３　今日の給食の中に入っている静岡県でとれた食べ物を紹介します。  ・給食に使われている静岡県でとれた食べ物の名前を知る。  ☆実物を見せ、触ったりにおいをかいだりして関心を深める。  ４　今日の一押しは今年のテーマ食品の「さば」です。  ・「ふじっぴー給食」では静岡県内全域で多くの児童生徒が静岡県でとれたさばを食べていることを知る。  ☆県内の児童生徒数の約半数の17万人が食べていることを伝える。  ５　静岡県でさばがとれる量は、全国で何位でしょうか。  ①１位　②４位　③６位　　答え：②４位  ・静岡県ではさばがたくさんとれることがわかる。  ☆たくさんとれるさばを静岡県の子供たちに食べてもらうためにふじっぴー給食のテーマ食材が「さば」になったことを伝える。  ６　静岡県ではどのようにしてさばをとっているのでしょうか。  ・静岡県でさばをとっている様子を知る。  ☆チラシや動画を活用する。  ★静岡県産の食べ物の良さや生産者の思いを知ることができたか。  ７　これからも、静岡県でとれた食べ物を味わって食べましょう。  　　☆今日の給食に対して期待を持たせる。  　　★静岡県産の食べ物に興味を持ち、尊重しようとする態度が養われたか。 | ・チラシ  ・地場産物の  実物  ・チラシ  ・チラシ  ・さば漁の動画  県教育委員会ＨＰ「ふじっぴー給食　さば」で検索 |

教科等との関連　５年社会「我が国の農業や水産業における食料生産」

６年家庭「１食分の献立作成」

中学技術・家庭（家庭分野）「日常食の調理と地域の食文化」

中学社会「私たちと国際社会の諸課題」